



2701

使用説明書

動物用医薬品

使用前に必ず本使用説明書を読み、注意事項を守って使用して下さい。

日生研鶏コクシ弱毒3価生ワクチン(TAM)

(鶏コクシジウム感染症(アセルブリーナ・テネラ・マキシマ)混合生ワクチン)

[製法及び性状]

本剤は弱毒アイメリア・テネラ、弱毒アイメリア・アッセルブリーナ及び弱毒アイメリア・マキシマをそれぞれ鶏腸管内で増殖させて得たオーシストを混合したものである。

静置すると無色透明の上清と少量の灰白色の沈殿を生ずるが、振り混ぜると灰白色半透明の液体となる。

[成分及び分量]

ワクチン1本(1,000羽分)中

<i>Eimeria tenella</i> , Nt-P110 株オーシスト	$4 \times 10^5 \sim 4 \times 10^6$ 個
<i>Eimeria acervulina</i> , Na-P75 株オーシスト	$1 \times 10^6 \sim 1 \times 10^7$ 個
<i>Eimeria maxima</i> , Nm-P102 株オーシスト	$2 \times 10^5 \sim 2 \times 10^6$ 個
ソルビン酸	0.01g
エタノール	0.1mL
リン酸緩衝食塩液	残量

[効能又は効果]

アイメリア・テネラ、アイメリア・アッセルブリーナ、アイメリア・マキシマによる鶏コクシジウム症の発症抑制

[用法及び用量]

1. 飼料混合投与法

本剤は3～6日齢の平飼いブロイラーひなを対象とし、その飼料に混合して1回投与する。本剤1羽分(0.02mL)を、ひなの日齢に応じた1日当りの給餌量の約1/5～1/10量の飼料に混合する方法で、本剤の均一な混合飼料を調製する。混合飼料の約100羽分ずつを市販の給餌器(縦45cm×横60cmの平底型、面積0.27m²)に分配し、分配した羽数分に相当するひなに投与する。ひなが混合飼料の摂取を完了した後、残量の飼料を給与する。

2. 散霧投与法

初生～4日齢の平飼い鶏を投与対象とする。本品20mL(1,000羽分)を5～20倍量に希釈し、輸送箱又は段ボール箱等に収容した1,000羽のひなに均一に1回散霧する。

[使用上の注意]

(一般的注意)

1. 本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方せん・指示により使用すること。
2. 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
3. 本剤は効能・効果において定められた目的のみ使用すること。

(使用者に対する注意)

1. 事故防止のため、作業時には防護メガネ、マスク、手袋等の防護具を着用し、眼、鼻、口等に入らないように注意すること。誤って当該部に入った場合は、直ちに水で洗浄やうがい等を行うこと。必要があれば本使用説明書を持参し、医師の診察を受けること(本ワクチン株は、人に対する病原性はない)。
2. 作業後は、石けん等で手をよく洗うこと。

本ワクチンに関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

日生研株式会社 製品係 〒198-0024 東京都青梅市新町9丁目2221番地の1
TEL 0428-33-1009、FAX 0428-31-6696

(鶏に対する注意)

1. 制限事項

- (1) 本剤の投与前には健康状態について検査し、異常を認めた場合は投与しないこと。
- (2) 鶏が次のいずれかに該当すると認められる場合は、健康状態及び体質等を考慮し、投与適否の判断を慎重に行うこと。
 - ・発熱、異常呼吸音又は下痢など臨床上異常が認められるもの。
 - ・他のワクチン接種や移動などによりストレスを受けているもの。
 - ・発育が悪く、明らかな栄養障害があるもの。

2. 相互作用

- (1) 飼料混合法で本剤を投与した後に日生研鶏コクシ弱毒生ワクチン (Neca) を使用することができる。この場合には、4日以上間隔をあけて投与すること。
- (2) ワクチン投与ひなの飼料には、本剤の効力が失われるおそれがあるので、投与3日前から、投与後少なくとも3週間は鶏コクシジウム症予防用薬剤を混合しないこと。

3. 適用上の注意

- (1) 本剤を飼料混合投与する場合、投与をできるだけ均一にするため、ひなは投与前約半日間断餌すること。
- (2) 本剤と飼料との混合又は水での希釈は投与直前に行い、混合飼料又は散霧用液の投与は速やかに行うこと。
- (3) 散霧投与後約30分以上ひなを箱に収容した状態で放置した後、飼育施設内に解放する。
- (4) 本剤を使用する予定の鶏群はあらかじめ清掃、消毒した鶏舎に導入すること。
- (5) 本剤を使用した鶏群の糞及び敷料は、鶏のオールアウト後焼却又は埋却するか、あるいは処理業者に委託する等適切に処理すること。
- (6) 使用後の鶏舎は、清掃後水洗し、通常の鶏舎消毒後にオルソジクロロベンゼン系消毒剤により消毒し、その後十分乾燥させること。

[取扱い上の注意]

1. ワクチン瓶は破損するおそれがあるので、強い衝撃を与えないこと。
2. 使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
3. 外観又は内容に異常を認めたものは使用しないこと。
4. 開封時にアルミキャップの切断面で手指を切るおそれがあるので注意すること。
5. 一度開封したワクチンは速やかに使用すること。使い残りのワクチンは雑菌の混入や効力低下のおそれがあるので、使用しないこと。
6. 使い残りのワクチン及び使用済みの容器は、消毒又は滅菌後に地方公共団体条例等に従い処分、若しくは感染性廃棄物として処分すること。
7. 本剤の投与に使用した器具類はオルソジクロロベンゼン系消毒剤に2日間以上浸漬して消毒するか、又は熱湯に1時間以上浸漬して消毒すること。
8. 本剤の散霧投与に使用した輸送箱等は、焼却するか、又は上述した方法で消毒すること。また、輸送車両は荷台等を十分清掃、消毒すること。

[保管上の注意]

1. 小児の手の届かないところに保管すること。
2. 直射日光、加温又は凍結は品質に影響を与えるので、避けること。特に凍結させると効力が失われるので、絶対に凍結しないこと。

注意—獣医師等の処方せん・指示により使用すること

[貯法及び有効期間]

1. 遮光して2～5℃に保存する。
2. 有効期間は1年2か月間である（最終有効年月は外箱及びラベルに表示）。

[包装]

1本 20mL (1,000羽分)

[2012年4月改訂]

日生研株式会社
東京都青梅市新町9丁目2221番地の1

1205SK30